

外国産マツ見本林

1935(昭和 10)年頃、成長比較参考林として植栽されました。代表して 2 種類の外国産マツを紹介します。

ストローブマツ

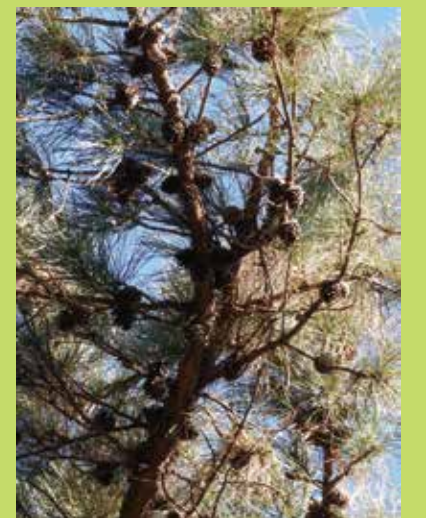
葉は柔らかく、5 本一束になって付きます。球果(松ぼっくり)は細長く、白いペンキが塗られたように松やにがついています。材が白いため、英名でホワイトパインと言われています。北アメリカ原産。



球果

リギダマツ

葉は 3 本一束で、ミツバマツの和名を持ちます。球果は枝に何年も付いたままなかなか落ちません。球果には何年も開かずについて、火事の時や木が倒れた時などに種子が散布されるものもあります。北アメリカ原産。



枝に付いたまま
落ちにくい球果

他に、アトラスシーダー、ハクショウ、カリブマツ、エキナータマツ、スラッシュマツ、台湾アカマツ、ダイオウショウ、テーダマツの外国産マツ科樹木が生育しています。詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。



まとめ 知識

日本産のマツの葉は 2 本(二葉松類)か 5 本(五葉松類)の束になっていますが、外国産のマツには 3 本のものもあります。マツの葉を横に切ってみると、2 本だと半円、3 本だと円を 3 等分した扇形、5 本だと円を 5 等分した扇形の断面が見られます。



3 本の葉が束になっている
ダイオウショウ
の葉の断面

